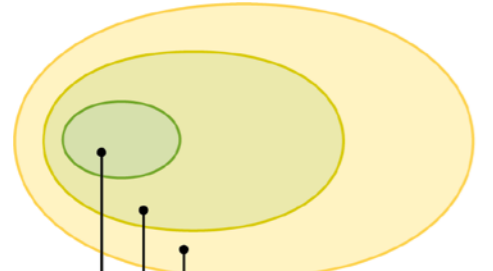


市民 WS を通じて検討すべき基本的な方向性案

①公園の規模による役割分担

地域ごとに異なる大中小それぞれの公園の立地状況を踏まえながら、公園の規模に応じた役割分担について検討する。

- ・小規模公園は最も身近な公園として、中くらいの公園は小規模公園の役割を、大きな公園は中くらいの公園の役割を兼ねながら、規模に応じた多様な機能を確保する。
- ・大きな公園が無い、中くらいの公園が複数ある or 限られているなど、地域による立地状況の違いを踏まえた役割分担を検討する。



大きな公園 (8000 m²以上) : 小さな公園、中くらいの公園の役割を兼ねながら、市の中心的な公園としての役割

中くらいの公園 (1500 m²以上※) : 小さな公園の役割を兼ねながら、各地域の中心的な公園としての役割

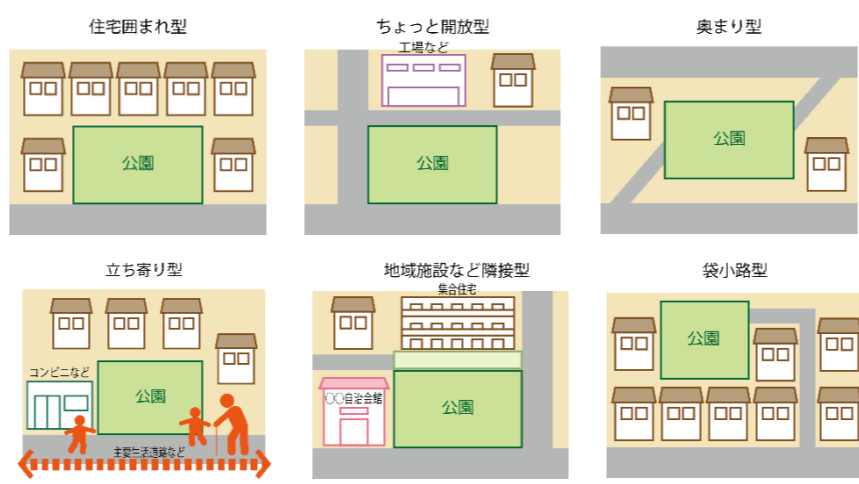
小さな公園 (1500 m²未満) : 最も身近な公園としての役割

※市民ワークショップにおいて把握できた、市民がよく利用する各地域の中心的な公園の面積が概ね 1500 m²~3000 m²であったことから、1500 m²以上の公園を「中くらいの公園」とすることとした。

②小規模公園の特化

公園の隣接環境とアクセスに応じた利活用の可能性を検討する。

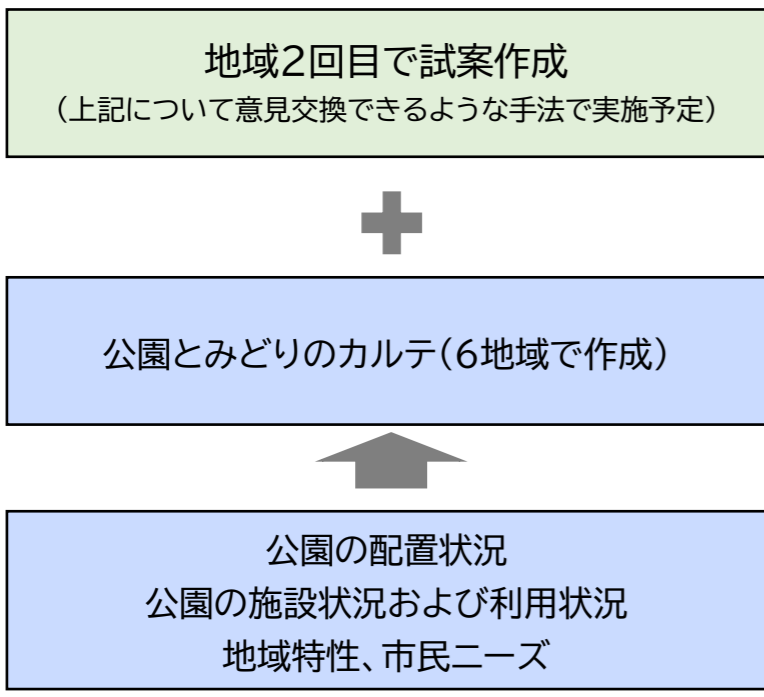
- ・三方向を住宅に囲まれていて遊びづらい、周囲が道路に面して住宅がはりついていないので思いっきり遊べるなど、隣接環境の違いによる利活用の可能性を検討する。
- ・主要生活道路に面している、袋小路にあって行きづらいなど、アクセスの違いによる利活用の可能性を検討する。



③特長的な公園づくり

この公園ならこれができる、という魅力ある公園づくりを検討する

- ・子育て世代や若者の興味を引くような全市民的イベントや、目玉になる大きな遊具、スケートボードなどこれまでになかった新たな遊び場など、門真市の公園の魅力アップにつながる公園づくりを検討する (特に大きな公園を対象として)。



検討が必要な方策 (案)

- 新規整備
 - ・空白エリア等における新規公園整備
- 公園の廃止
 - ・利用されていない公園等の廃止
- その他の市管理公園の都市公園への格上げ
 - ・公園の再整備や利活用促進による機能の充実
- 機能の特化・分担
 - ・再整備等による機能の特化と複数公園での分担
- 公園の機能の転換
 - ・市民農園などへの機能の転換
- 代替性の確保による機能の補完
 - ・公共施設等の利活用による代替性の確保
- 地域主体の利用ルールづくり
 - ・使い分けによる複数公園での機能の確保
- 他市公園の活用
 - ・隣接市の大規模公園や近隣公園等の活用

方針イメージ

〇〇地域 公園再整備・再配置方針

- 機能強化
 - 田第一中学校跡地と一体的に整備予定の幸福町公園や地域利用の核となり利用者が多い石原町公園等は、機能の維持及び強化を図る。
- 機能特化・分担
 - 石原町等の密集市街地において近接する小規模公園の機能を特化し、複数公園で機能を分担する。
- 機能転換
 - 利用者が見られず、近接する複数公園で機能が重複していることから、防災機能のみを維持して機能転換を図る。

各公園の遊びの機能を特化し、複数公園で分担する。利用者の見られない公園は防災機能のみを残して密集市街地におけるオープンスペースとして確保する。

凡例(公園機能)

幼	幼児の遊び	健	健康づくり
遊	遊具遊び (一般遊具)	休	休息・やすらぎ
遊	遊具遊び (特種的な遊具)	コ	コミュニティ形成
広	広場遊び	防	防災
広	広場遊び (ボール遊び可)	景	景観形成
自	自然遊び	日	日常利用
ス	スリッパ・レクリエーション	WC	トイレ
		駐	駐車場